

命を預かる 福祉車両の整備



デイサービスなど福祉施設へ通う人の送迎に日々活躍している福祉車両をよく見かけます。どうやって車いすを載せているのか、どのような装置があるのか。福祉車両の点検を数多く手がける上越市の太陽自動車工業で話を聞きました。



▲ 電動リフトの点検は車いすを載せて行う

今回見学できたのは、福祉施設が車いす送迎用によく使っているワンボックス型のバンです。車体後部には、車いすに着座したまま乗車できるように昇降用の電動リフトが備わっています。一口に「福祉車両」と言ってもさまざまなタイプがあり、どれも特殊な装置を正しく操作する必要があります。便利な反面、誤った使用方法による事故も発生している09年には神奈川県でリフトから車いすごと転落し死亡した事故がありました。筆者が実際に車いす送迎を体験してみたところ、思ったよりも快適ではないことがよくわかりました。一般的な車いすは、自動車の座席と比べ堅牢性や安定性、姿勢保持などの性能が劣るそうです。路面の段差を超えるときやカーブを曲がるときは、不安を感じました。

太陽自動車工業の岩崎慎也さんは、安全で快適な車いす移動のためのポイントを教えてくれました。



▲ 納車時、使い方のアドバイスをすることも忘れない

- ①車いすでは正しい着座姿勢をとること、
- ②固定装置を正しく使って車いすを固定すること、
- ③やさしい運転をすること、
- ④できれば「車載用の車いす」を使用することだそうです。

太陽自動車では(一社)全国総合福祉車両協議会認定の「福祉車両アドバイザー」が5名在籍しています。日常的な点検整備はもちろん、車いす昇降リフトが突然動かなくなったときに現場へ駆けつけ応急処置をすることもあります。万一に備え代車も2台用意しています。要望があれば福祉施設向けに「福祉車両の安全教室」を無料で開催しています。「福祉には多様なニーズがありますが、福祉車両は万能ではなく制約も多いです。私たちがアドバイザーと名乗っていないながら何が正解かわからないときがあります。日頃からさまざまな立場の方々と共に考えることで、よりよい答えを見つけたいです」と岩崎さんは語ります。

工場での作業が完了し納車へ。「利用者様の命を預かっているという思いで整備をしています」と岩崎さん。依頼主である「デイホーム金谷」管理者の金井幸さんは「代車を用意してくれたり、不具合箇所の説明や次回車検に向けたアドバイスをしてくれたりときめ細かいサービスで助かっています」と笑顔をみせました。



TAIYO

協業組合 太陽自動車工業

〒942-0033 上越市大字橋樑634番地1

TEL.025-543-4832(代表)

www.taiyo33.jp



太陽自動車は新潟県「おもいやり駐車場」制度に参加しています